

## 神社・寺院の動物たち

神社や寺院に行くと、いろいろな動物たちに出会います。実在するものや想像上のもの、神格化したものもいます。仏教の仏やヒンドゥー教の神は動物（象、水牛、狐など）に乗り、その動物も神格化されます。また、獅子や狛犬のように遠くエジプトのライオンに由来するものや天狗のように日本独自のものもいます。吉兆を知らせる瑞獣（鳳凰、麒麟、龍、亀）は中国生まれですが、なかでも龍は特別で、龍の子ども（虯、ひき）や龍の幼生（蛟龍、こうりゅう）などの変化もあります。蛟龍は梵語のクンビーラ（ヒンドゥー教の水神ナーガの乗物で、鼻の長いワニ）で、宮毘羅＝金毘羅と同一視されました。また、仏教では龍は守護神とみなされます。

### 山に鎮座する海神

十返舎一九の金毘羅参詣続膝栗毛では、金毘羅神は不



象

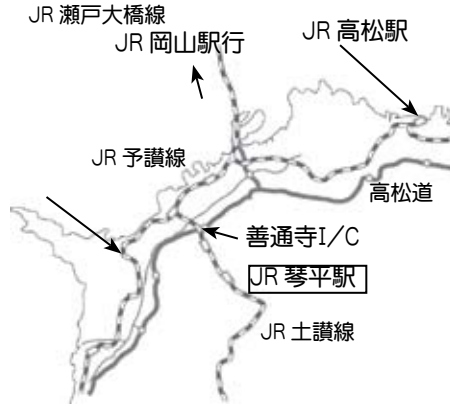


こんびら狗

象頭山金毘羅大権現にちなんだ象や代参のこんびら狗などが迎えてくれます。また、元祭神のクンビーラも見所です。

詳と記されていますが、後に、先述のように水神の乗物、クンビーラと同一視され、海運の神様になりました。クンビーラは靈鷲山で釈迦を助け、また宮毘羅は薬師十二神将の一人であるため、この海神は山に鎮座します。また、こんびらさん中興の祖である金剛坊有盛は、御山を守るために天狗になったといわれます。現在は、厳魂彦命として奥の院に祀られています。

## アクセス



JR土讃線琴平駅下車。  
高松自動車道の善通寺 I/C より車で20分。



四国学院大学  
空海カフェ  
観光学メジャー

香川県善通寺市文京町3-2-1 760-8505  
<http://shigakuweb.jimdo.com>  
印刷 株式会社 弘栄社



## 讃岐のこんびらさん

「金毘羅船々」の歌で親しまれてきた象頭山金毘羅大権現は、西日本屈指のパワースポットとして知られ、参詣できない人は犬を代参させたと言われます。明治初期の神仏分離政策に起因した祭神の変更（大物主神への変更）に伴い、建物が建て替えられたり、名称が変更されたりしました。しかし、江戸時代に建造された建物や燈籠には、多くの動物の彫像や彫刻が施され、江戸期のこんびらさんの様子を今に伝えていきます。



象頭山

# こんびらさん で会う パワーアニマル

## 江戸時代の動物ランド



# こんびらさんの動物たち



金毘羅大権現

現・美穂津姫社



天狗

現・金刀比羅宮

現・奥院



天狗 守

現・旭社

現・賢木門

現・表書院

現・大門

破却

## 参道：守護する動物



宝珠  
笠

火袋

中台

竿

基礎

3 青銅大燈籠

- 主な役割
- 守 守護
  - 使 使い
  - 瑞 瑞獣
  - 神 祭神



2 鯨 守

## 境内：使いの動物



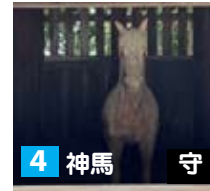
1 鶴 使



2 鹿 使



3 こんびら狗 使



4 神馬 守



5 獅子 守



6 象 守

## 本社・旭社付近：瑞獣や祭神



龍 守



象と鳳凰 瑞



1 鯉 瑞



2 亀 瑞



3 龍 守



4 麒麟 瑞



5 轟肩ひき 瑞



6 獅子 守



7 蛟龍こうりゅう 神



8 龍 守



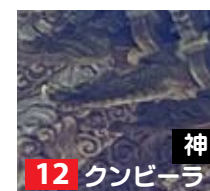
9 獺ばく 守



10 鷹 神



11 鳳凰 瑞



12 クンビーラ 神

## 1 狛犬

ライオンをモデルとした聖域を守る動物です。向かって右側の阿形、角なしが獅子、左側の吽形、角ありが狛犬と呼ばれました。現在は、二つで狛犬です。



1 本社前の狛犬 守

1 備前焼の狛犬（参道）